

# 関東アコーディオン演奏交流会 No.4

## 実行委員会ニュース

2016.8.10 発行

編集 広報部

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

### 第28回 関東アコーディオン演奏交流会

開催日:9月22日(木・祝) 会場:北区滝野川会館(10時開始)

■ゲスト審査員 北川 翔(バラライカ奏者) ■ゲスト演奏者 原田 忠(アコーディオン)

■審査員:大田智美 川口裕志 柴崎和圭 松永勇次 三浦みゆき 山岡秀明

(以上敬称略、審査員は五十音順)

お友達の応援も大歓迎。  
良かった演奏にシール  
を貼る企画は、今回も  
実施いたします。

#### 《出場申し込み状況》

【重奏部門】 18団体

【バンド/アンサンブル部門】 11団体

【合奏部門】 19団体

出場申込みされた皆様ありがとうございます。延べ人数で300人近い方が演奏されます。全ての部門で近年になく出場団体数が増えました。中でも「バンド/アンサンブル部門」の申し込み“11団体”は過去最多となります。どうしたらアコーディオン仲間の夢が広がるのかと考えて

ていた実行委員会としても嬉しい結果となりました。

猛暑にもめげず一所懸命練習されているみなさまの熱意に感謝するとともに、その成果が期待されます。

また、ユニークな団体名も見受けられ、当日の演奏がたいへん楽しみです。



#### 目次

■出場申し込み状況…1P

■楽譜提出締切り…2P

■伴奏講座まとめ及び感想…4～7P

■ホワイトボード…9～10P

■参加協力券の普及にご協力ください…2P

■『関東アコアンサンブル』次回練習日程…3P

■発表会感想「山岡アコーディオン教室」…9P

## 楽譜提出締切りは8月31日(水)です

### 《楽譜提出期日厳守についてのお願い》

楽譜の提出期限は8月31日(水)です。楽譜は審査員の方々に前もって送る都合上、期限厳守をお願い致します。

### 《楽譜提出部数》

【重奏部門】、【バンド/アンサンブル部門】は8部。【合奏部門】は7部です。

### 《注意事項》

提出していただく楽譜は、審査の際に審査員の先生方にその楽譜にアドバイスを書き込んで頂き、終了後演奏者にお返しするものです。出来るだけ見やすいものを提出してください。※練習中の注意事項などを書き込んだもの、蛍光ペンでなぞったものなどは避けてください。

■その他製本の仕方などについては、ホームページでご確認ください。

### 《楽譜提出先》

塚本五郎 〒216-0033 川崎市宮前区宮崎 660 Tel. 044-877-9871

## 参加協力券普及のお願い

関東アコーディオン演奏交流会も、アコーディオン愛好家の交流の場として28回目



を迎えました。「学びあうためのコンクール」でもあるこの交流会に今回300名近いアコーディオン仲間が出場します。日頃一緒に練習している仲間だけでなく、他のサークル、あるいは他の教室などで練習している方たちの演奏を聴くことも大変参考になると思います。

実行委員会ニュースNo.4に「参加協力券」を同封させていただきました。

夏休み中でもあり、友達と連絡が取りにくい時期かと思いますが、本番まで約一ヶ月余りありますので同封の券をご活用いただき、多くの方が聴きに来て下さるよう周りの方に是非広めて下さい。

また、ゲスト演奏者「原田忠氏(アコーディオン奏者)」はヨーロッパや南米音楽をメインに、セッション、録音、作曲などで活動中の方です。ゲスト演奏も楽しんでください。

♪ 学びあうためのコンクール ♪

## 第28回 関東アコーディオン演奏交流会

9月22日(木・祝) 10:00~北区滝野川会館

重奏部門、バンド/アンサンブル部門、合奏部門

～・観客の皆様による人気投票にぜひご参加ください～

ゲスト演奏：アコーディオニストの原田 忠さん

見本



参加協力券

1000円

当日・済

お名前

扱い者

小・中学生 無料



## 第13回 伴奏講座 開催される

6月25日(土)13:00~26日(日)15:00 会場:星槎高尾キャンパス

関東アコ主催の伴奏講座は、第8回から講師が2名体制となり、「初級コース」に対応した講座を青山義久氏が受け持ち、「実践コース」を池田健氏が受け持ってきましたが、前回まで「初級コース」を担当されました青山義久氏の急逝に伴い、今回新しく橋本千香子氏が「初級コース」の講師を受け持ちました。また、橋本講師のアイデアで歌手の参加が実現したことで、受講者側から見ても新鮮な伴奏講座になったようです。参加者は、講師2名を含め総勢27名でした。※以下は、2日目、全体発表に向けた各講師のコメントの概要です。

**橋本教室** その昔は、歌手の歌を補うということで、単旋律で同じメロディーを弾いていたと思われます。それが19世紀になって発展する中でアコーディオンという楽器も生まれ、近代では伴奏のできる楽器だということで見直されてきました。

そんな話から始まり、実際にアコーディオンを弾きながら左手ベースボタンの配列の話をしました。「C」ボタンを中心にして上へは「完全5度」上の音が配列されて、実際に「C」の上のボタンは「G」ボタンになっている。また、下へは「完全4度」上の音が配列されている。実際に「C」の下は「F」のボタンになっている。

したがって、転調も、例えば「C調(八長調)」から「D調(二長調)」に変えたい場合は、「C」ボタン中心から「D」ボタンを中心にずらしていけば良いということで、それをやりながら、右手の音階練習をしました。

また、いま弾いた和音は「メジャーか」「マイナーか」といったクイズをやりました。全部あたっていました、皆さん耳がいいんですね。そんなことをやりながら、一つの調には「主三和音」と「副三和音」があって、

長調の場合「Ⅰ度・Ⅳ度・Ⅴ度」は“メジャー”で、その間にある「Ⅱ度・Ⅲ度・Ⅵ度」は“マイナー”で、そういうコードが使用できるという話をしました。あとは安定したリズムで弾けるように「リズムの違い」を少しやりました。

また、転調に挑戦した方もいて、「故郷」(うさぎ追いかの山~)の曲で、1番は「八調」で演奏、2番は「D調」で演奏、3番は「F調」に行くという編曲で挑戦してみました。転調の直前に橋渡しとして転調先の属和音を使うことで転調がスムーズにいくことを学びました。

最後は、平木さんに歌っていただきながら全員で「アンニーローリー」を歌+3パートに分かれてやりました。とても楽しい練習でした。(写真は講座の様子)



**池田教室** 僕の方は11名。レジメの最初に「伴奏の心構え」って書いてあるけど、歌手手との関係の中で共同作業。そういう重要な役割を持っているという話をしまし

た。伴奏って、なんとなくメロディーを弾いてちゃっていると思うんだけど、“メロディーを弾かないでどういう伴奏をつくれるか”そういう形を教える方向で、最終的に

は和音を勉強してコードの付いていない楽譜に自分でコード(和音)を付けて、伴奏の形を整理することを目指しました。

結論から言うと、伴奏譜にするとところまでほとんどの人が行けなかったのがちょっと残念でした。

具体的な内容は、例として、変化記号の付いていない「C(ド)」から始まる八長調という「長音階」と3度下の「A(ラ)」から始まる短調「イ短調」という音階があって、それぞれ「主音が(ド)」と「主音が(ラ)」その組み合わせを《平行調》という。そういう音階があることを話しました。

橋本さんのクラスでもあったように、「主三和音」「副三和音」、例として、八調でいえば「C・F・G」が主三和音で“メジャー”。それから、「D・E・A」が副三和音で“マイナー”で、この6つをいろいろ使いながら和音を付けられる話をしました。(Ⅶ度の和音はちょっと性格が違うので今は脇に置いておきます)まずは6種類の和音をどう使うか、「河は呼んでる」を参考に、主三和音(メジャー)だけでなく、副三和音(マイナー)を使うことで曲の雰囲気、世界が変わることを実践してみました。

次に、安定したリズムを提供しないと伴奏っていうのはなかなか難しいという話をしました。そのリズムの形として、■1つは例えば「C」なら右手で(ド・ミ・ソ)を同時におさえて「チャッ・チャッ・チャ」と弾く方法。■2つ目はアルペジオ「分散和音」と言っ(ド・ミ・ソ・ミ)とか(ミ・ソ・ド・ミ)とか(ソ・ド・ミ・ド)とか和音の構成音を1音ずつ散らして鳴らす。■3つ目はオブリガードと言っ、例えば「F」という和音だと(ファ)とか(ラ)とか(ド)とかの音を選んで1つの音を横に流してつないでいく方法。アコ1台で伴奏しているときにこれをやると歌う側はつらいので、ピアノとかギターとか、リズムをちゃんとやっている人がいるときに使うと効果的です。■4つ目は「対位旋律」

(譜面のメロディーと違うメロディーを弾く)「神田川」を例に説明。元のメロディーと同時に違うメロディーが平行して流れている。こういうのが書けるようになると伴奏が楽しくなる。■5つ目は「バリエーション」これはすごく早いパッセージでタンゴなんかでよくつかわれている。

伴奏の方法の形を5つ上げただけで、いくつか形がある。だから、曲によって組み合わせさせて伴奏する。

まとめると、まず、譜面を見て、変化記号が付いていれば「何調の曲か」を見分ける。そうしたら、その調にはどんな和音(コード)があるか(どんな和音が使えるか)、使えるコードの中でメロディーに合わせて和音を付けていく。それを、自分で譜面に書いてみる(伴奏譜をつくる)。二日目の朝もぎりぎりまでやったんですけども、時間の制約もあって消化不良のところもあったかと思います。コードを自分で付けられるところまでは大体できたようですが伴奏までは手が回らなかったようです。

写真は池田教室の様子



《以下感想より一部紹介》

◎何気なく弾いていた譜面にいろんなことがあるんだと分かりました。自分で編曲するのは難しいと思うけどきっかけができたかなと思います。

◎和音の「転回形」あれを練習すると実用性は高いなと思いました。

◎講師が変わると違った角度から話してくれるので少しずつ理解が深まる。etc

## ♪「第13回 関東アコ・伴奏講座」体験記♪

百瀬まなみ

縁あって、2015年10月からアコーディオンに触るようになりました。現在は東京アコーディオン研究会(略称:アコ研)に所属し、主に合奏を楽しんでいます。

個人的には、親戚会の余興や高校の東京同窓会での校歌伴奏など、自己流で弾いていたのですが、右手で歌のメロディ、左手で数パターンの伴奏という決まりきった演奏しかできず、行き詰まりを感じていました。そこで、一大決心をしてこの合宿に初めて参加しました。

↓オリエンテーションの様子



この合宿では20数名が初級と上級クラスに分かれて授業を受けます。ところが、案内文をよく読んでおらず、何も決めずに来てしまいました。建物の前に両方の先生がいらして、上級クラスを受け持つ池田健先生から「ある程度基礎がわかっている人に、伴奏のパターンや展開を教える」という説明を受けました。そこで、アコーディオン経験9か月のド素人ながら、果敢にも上級クラスを選んだのです。

先生は歌声喫茶の元従業員ただただあり、講義内容はエキサイティングでした。和声や調の説明など、ただ聞くだけでは心を閉ざしてしまいそうな話なのですが、ちょこちょこ楽器を装着して



は実演してくださるので、難しい論理もすぐに理解できました。また、様々な奏法やバリエーションを次々に繰り出していきます。身に着けたい技がいっぱいありました。このクラスで正解でした。特に胸に響いたのが「メロディを捨てる」。右手ですっとメロディを弾いてい

たから演奏がワンパターンに陥っていたのです。そう、「ピアノ伴奏をアコーディオンに置き換える」、という発想をした方が、奏法に広がりが出るということがわかりました。そして、歌う人をイントロでその気にさせ、気持ちよく歌わせることこそが伴奏の醍醐味、との説明に、深くうなずきました。

さて、初日の後半、ここがハイライトです。何曲か歌の楽譜が配布され、好きな歌を選ぶようにと言われました。歌楽譜の下の各段は空欄になっています。そこにコードを振り、伴奏を作る、という実践的な課題が出されました。

俄然おもしろくなってきました。血が沸き立つ感じでした。高校生の頃はバンド活動で作曲や編曲三昧、手が小さくてモノにならなかったピアノを道具として使いながら、楽譜を書いていましたからね。

「希望」を選び、アルペジオ中心の組み立てで作りました。少し弾いてはバランスを確かめ、五線紙に音符を書き込む、繰り返すうちに、だんだん伴奏曲らしくなっていきます。

先生がメンバーの間を巡回しながら、私の演奏をしばらく聞いて、「ここに凝ったコードを一つ挟むと、より複雑な展開になるよ」、などと高度なテクニックを教えてくださいました。

また、翌日は全体でアニーローリーを演奏する予定があるため、最後にその練習も少ししました。楽譜には伴奏が3パターン書かれており、これのどれか一つを選ぶのかと思ったら、すべての伴奏を一度に鳴らすのだ、と聞かされました。上級クラスは二手に分かれ、2パートと3パートを練習しました。

↓夕食後の交流会の様子



夕食後、広い部屋で宴会兼演奏会がありました。酒が進むほど皆さんごきげんになり、次々に楽器をつかんで飛び出していきます。怖いもの知らずの新人も「知床旅情」「浜辺の歌」「琵琶湖周航の歌」を弾いて、皆さんに歌ってもらいました。



↑ 寄稿者、百瀬まなみさん伴奏の様子



宴会は2時間でおひらきとなり、恒例？の、男子部屋での二次会です。部屋が続き間になっていて割と広いので、十数名がはいりました。

ここでは楽器はさすがに禁止なので、「はい、三度と五度の和音！」と先生に指導されてコースの練習などをしました。たいへん高尚な飲み会になりました。また、歌っているうちに合唱団経験者が美しいハーモニーを醸し出し、即興コンサートのようになりました。

やがて何名かの男子が睡魔に誘われ解散となりました。



翌日はクラス別授業の後、全体が集まって、初級クラスは団体での発表、我々は一人ずつの発表をしました。

最後にアニーローリーを全体で合奏することになりました。1番は初心者クラスが1パートを右手軍団と左手軍団とで分担して演奏します。2番からは2パートが加わり、3番には3パートが参加してだんだん厚みを増していく、という流れで



↑ 橋本教室発表の様子 ↓ 池田教室発表の様子



す。そして、即席に結成された4名の女性コースも合わせるようになりました。

その際、私が担当した2パートは、動きのあるベースラインに右手のアルペジオ、という構成でした。これまでの雑な演奏歴が災いし、ベースボタン単独の移動に慣れていなかったため、きちんと通してベースを弾けませんでした。嘆いて見せると、宮城県から参加した3パート担当の方が「じゃあ、オレがベースを補うよ」と、自分の出番がない2番の間、ベースの音をカバーしてくれました。

そして、総勢20名によるアニーローリーができ上がりました。やはり、歌があつてこそその伴奏なんですね。多少のミスタッチは音の厚みに吸収されて気にならず、卒業作品のような一曲となりました。



とても楽しくてためになる合宿でした。参加してよかったです。

その後も、「希望」の伴奏をあれこれ考えては練り直し、完成度を高めているところです。

アコ研の練習では当番制で歌伴奏が回ってくるので、7月中旬に披露する予定です。

## ♪「第24回 山岡アコーディオン教室 演奏発表会」ぶらり訪問記♪

2016年7月31日(日)14:30開演 会場:船橋市勤労市民センターホール 入場無料

山岡アコーディオン教室の演奏発表会は「第24回」とありますが、足を運んだのは初めてです。きっかけは、今年6月末に開催した「関東アコ主催の伴奏講座」に、山岡教室の生徒さんが参加され交流できたことで、楽しみにしていました。

受付でいただいたプログラムは夏の青空を思わせる爽やかな水色で、街なかの蒸し暑さを忘れさせます。(写真は主催者より提供頂きました)

プログラムは3部に分かれていて、それぞれ独奏で始まり、中ほどに二重奏が1組入り、また独奏になり最後合奏で終わる。そんな組み立て方でした。第1部での合奏は「東京アコーディオンアンサンブル」による女性6名でのアンサンブルで、2曲「スケルツォ変ロ長調」「リトルマーメイドメドレー(エレキベースが入る)」を演奏。第2部での合奏は、「アコーディオンアンサンブル『総』」(14名:男女半々ぐらい)により「カルメン シルバー」「いい湯だな」の2曲演奏(写真はカルメンシルバー演奏の様子。指揮:丘ひろこ氏)。1部と2



部の合奏の部分でちょっと工夫されていました。

400席近い比較的大きなホールということもあつての配慮か、演奏者の左右にマイクが置かれていたので、音は会場いっぱいによく届いていました。

最初に「線路は続くよどこまでも」を演奏された方は小学生ではなかったかと思われそうですが、20代、30代、40代、50代、60代、70代と生徒の年齢の層も厚く感じられ羨ましく思いました。

第一部で演奏された方の中にも暗譜の方が何人かおりましたけれども、第二部で演奏された方々は皆さん暗譜でしっかり弾ききっていました。

暗譜でステージに立てるようにしっかり練習なさっているんだなど演奏者の発表会に臨む情熱が伝わってきました。

演奏曲目も、初めて聴く曲(知らない曲)がたくさんあり、私にはとても新鮮な演奏会でした。曲目をいくつか挙げてみます。

【第一部】「クフシュタイナー リート/K. Ganzer」「海上の舞踏会/F. Deguert&J. P. mottier」「パリ カナイユ/Leo Ferre」「パリの夕べに/Wim Tipken」「ヴォージュのヴァガボンド/Frédéric Buch」「美しいジュネーヴの湖で/A. Walter」他。

【第二部】「ムーンライト チャチャ/Ernesto Lucio」「ソルフェジェット/C.P.E.Bsch」「パイオニア コンチェルト/Eugene Ettore」等、他に「ソナタ(op143a-1979)」は、JAA 主催「国際アコーディオンコンクール」の課題曲でした。とのコメントがありました。

教室生による発表会は第二部までで、ちよつと休憩を挟み、「Family Sound Plaza」(山岡先生ご家族による演奏)が待っていました。1曲目は「オレ・グワツパ」(アコ:山岡秀明/丘ひろこ)(ピアノ:Tito Monte)。2曲目「赤と黒/Felix Lee」は、ピアノからアコに持ち替え同じメンバーで、アコ三重奏。



(写真は2曲目の様子)他に2曲演奏され、アンコールにはリオデジャネイロオリンピックにちなんで「ブラジル」を用意されていました。

司会者より本年9月の関東アコに「東京アコーディオンアンサンブル」がアンサンブル部門に出場する予定ですとの嬉しい紹介がありました。

再会を楽しみに帰途につきました。(乙津:記)

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より) .....

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ \*谷口楽器のホームページより\*

会場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階

第167回 2016年8月28日(日) 13:00~14:30 講師: 牧田ゆき氏「歌の伴奏について(6)」

第167回 2016年9月18日(日) 13:00~14:30 講師: 加藤徹氏「コンサーティーナ(入門と試奏の会)」

問合せ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

♪杉山卓withMariya Kato アコーディオン+ポルタティーフオルガン♪ \*Inspiration\*

日時 2016年8月13日(土) 《昼公演》開場:14:00 開演14:30 《夜公演》開場:17:00 開演17:30

会場 @藤野 野山の食堂 (神奈川県相模原市) ★JR中央線「藤野」駅下車。藤野駅停留所から『やまなみ温泉行』バスに乗り、『藤野芸術の家』停留所下車すぐ。(新宿より70分)

コメント 通常のパイプオルガンと決定的に違う点は、ポルタティーフ演奏においては演奏者自身がふいごを操作する、という点である。しかもそれが演奏技術の半分以上を遥かに超えて担っているという点に於いて、むしろオルガン演奏より、蛇腹楽器と言われるアコーディオンの演奏に近い。(チラシより一部を転記)

出演 杉山卓(アコーディオン) 加藤万梨耶(オルガン製作者:今回使用するポルタティーフオルガン「2014年制作」は、15世紀の文献をもとに、中世のオルガンを再現したもの)

演奏曲 OBLIVION Tango pour Claude Libertango Mas que Nada 他

チケット 前売 ¥2,500円 当日 ¥3,000円(全自由席・ワンドリンク込み)

問合せ 090-7848-3569(加藤)



♪Bellows Lovers Night vol.15 in Nagoya♪

日時 2016年8月19日(金) 開場:18:00 開演19:00

会場 THE BOTTOM LINE (名古屋)

出演 coba アンジェロ・アクイリヤーニ Snafkins 牧野悦子&ゲアリー杉田 MMデュオ Sapato Novo 他

入場料(税込) 自由席:4,200円(整理番号付) ※1ドリンク別途:500円

チケット チケットぴあ:0570-02-9999 [Pコード:301-116] ローソンチケット:0570-084-004 [Lコード:43691] 他

問合せ ボトムライン:TEL.052-741-1620 <http://www.bottomline.co.jp>

♪Bellows Lovers Night vol.15 in KoBe♪

日時 2016年8月20日(土) 開場:17:00 開演18:00

会場 Live Hall クラブ月世界 (神戸)

出演 coba かとうかなこ with 増永雅子 カルトマト(原田忠+都丸智栄)×坂野志麻 L'abeille POPOGI 松原智美 他

入場料(税込) 全自由席 前売り:4,200円(整理番号付き) ※1ドリンク別途:500円

チケット Live Hall クラブ月世界:TEL.078-331-6540 チケットぴあ:0570-02-9999 [Pコード:302-537] 他

問合せ クラブ月世界:TEL.078-331-6540(平日12:00~20:00) <http://gessekai.net>

♪第19回 東京バンドネオン倶楽部 演奏会♪ \*プロと愛好家の楽しい演奏会\*

日時 2016年8月20日(土) 開場:15:30 開演16:00

会場 角筈区民ホール ★京王線「初台」駅東口より徒歩10分、都営大江戸線「都庁前」A5 出口より徒歩10分

出演 スペシャルゲスト:阿保郁夫 / Cantor:KaZZma / 小松亮太

曲目 真珠とりのタンゴ タキート・ミリタール アディオス・パンバ・ミーア ダンサリン 勝利 他

料 金 ¥3,000(全席指定) ■問合せ:03-3399-1933(10:00~20:00/予約は出来ません)  
チケット e+(イープラス)直接購入される場合は、ファミリーマートのタッチパネルを操作して購入下さい。  
インターネットで購入の場合は、[PC/携帯]http://eplus.jp

♪2016年 御喜 美江 アコーディオン・セミナー♪ \*2017年 JAA 国際アコーディオンコンクール・プレ企画\*

日 時 2016年8月28日(日)

《セミナー1》 10:00~11:30 《セミナー2》 12:45~15:30 《質疑応答》 15:30~16:00

会 場 新宿文化センター第1会議室 ★都営大江戸線・東京メトロ副都心線「東新宿」駅 A3 出口より徒歩5分  
セミナー1:「練習からステージへ」 演奏会、コンクール、試験、などを目標とした場合の練習法。  
セミナー2:「音色ってなに?」 アコーディオンにおける音色づくり

料 金 JAA 会員 5,000円 一般 6,000円 学生 5,000円 ■定員 約60名(定員になり次第締め切り)

問合せ・申込み NPO 法人 日本アコーディオン協会 FAX 03-5909-3190 Email:jaaoffkw@npo-jaa.jp

♪第20回 長野県 アコーディオンフェスティバル♪ \*主催 長野県アコーディオン愛好会\*

日 時 2016年9月3日(土) 開場:13:30 開演14:00 ■入場券 500円

会 場 箕輪町文化センター 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪 Tel:0265-70-6601

★飯田線「伊那松島」駅より徒歩2分

賛助出演 コカリナサークル明音

主な曲目 旧友 黒い瞳 ザ・レンジャーズ 真珠とりのタンゴ 信濃の国 他

問合せ Tel:0265-79-3939(山口)

カット:チラシより転写



後 援 箕輪町教育委員会 信濃毎日新聞社 箕輪新聞社 長野日报社 伊那ケーブルテレビジョン

♪第6回爽やか高原コンサート in 戸隠 大田智美・中山英雄 アコーディオンと歌声の夕べ♪

日 時 2016年9月17日(土) 開場:19:00 開演19:30

会 場 戸隠高原アコールデ

主な曲目 【第一部】大田智美ソロ:カリнка(ロシア民謡/中山英雄編曲) シェルプールの雨傘(M.ルグラン)他

【第二部】大田智美・中山英雄デュオ:金髪のジェニー(フォスター/美野春樹編)他

【第三部】中山英雄ソロ:原爆を許すまじ(木下航二) 花は咲けども(横沢芳一)他

【第四部】皆で歌いましょう! :日本の歌、世界の歌 (リクエスト受付中)

会 費 コンサートのみの参加(大人 3,000円 中高生 2,000円 小学生以下 1,000円)各税込

1泊2食付き+コンサート(大人 12,000円 子供 10,000円)

2泊4食付き+コンサート(大人 19,000円 子供 16,000円)

夕食+コンサートのみ:(大人 5,000円 中高生以下 3,500円)※各いづれも800円のケーキ&ドリンク付き

《アコーディオン基礎講座と公開レッスン》

日 時 2016年9月18日(日) 9:00~12:00

コメント アコーディオン演奏するにあたっての基礎講座と、希望者への公開レッスンです。個人レッスン受講希望者は9月4日までに曲目をアコールデまでお知らせください。あわせて楽譜のコピーもお送りください。

参加費 宿泊者の聴講は無料ですが個人レッスン受講者はプラス1,5800円。

宿泊せず講座のみの聴講は1,500円で、個人レッスン受講の方は3,000円。

問合せ アコールデ(ホームページで検索) TEL:026-254-3078 Eメール akkorde@blue.ocn.ne.jp

「次回実行委員会」のお知らせ 8月28日(日)18:00~ 会場 エデュカス東京

■抽選会の報告(参加状況)

■要員の確保について

■会館との打合せについて

■プログラム印刷日程について

■チラシ及び参加協力券の活用について

■その他